

長年に渡る更生保護活動が評価 「活動をもっと広げたい」と決意新たに

川根本町更生保護女性会

会長 蘭田 優子 さん(梅高区)

橋本 和子 さん(梅高区) 鈴木 静代 さん(田代区)



右から会長蘭田優子さん、鈴木静代さん、橋本和子さん。3人は7月に開催した川根高校思春期講座を振り返り「『性』をテーマした講座を受け入れてもらえるか心配でしたが、生徒たちの真剣な表情や感想を聞いて、開催して本当に良かった」と笑顔で話しました。

10月4日、静岡県更生保護女性連盟が主催する「静岡県更生保護女性連盟結成60周年記念大会」が開かれ、本町更生保護女性会の蘭田優子会長が関東地方更生保護委員会委員長感謝状を、橋本和子さんが静岡県保護観察所長感謝状を、鈴木静代さんが静岡県更生保護女性会連盟会長表彰をそれぞれ授与されました。

受賞について3人は「決して私たちだけの力ではない。今日まで同会をつなぎ続けて来た全ての人たちと一緒に受賞したという思い」と感謝の気持ちを表します。

現在、30から80代の51名の会員が所属している同会。保護司と連携して薬物の乱用防止を呼び掛ける活動や更生保護施設での食事作り、社会を明るくする運動の街頭啓発などに取り組んでいます。「同会では、更生保護施設で活動するなど普通ためらってしまうようなことも経験します。でもそんな活動が自分の成長の糧になります」と橋本さんは話し、鈴木さんは「活動を通して川根本町の風土や人の温かみなど大切な物が付けた。これからも仲間たちと、地域のために貢献していきたい」と笑顔で続けます。

最後に蘭田さんは「悩みや不安を抱えた人たちに寄り添い、力になれることがうれしい。これまで関わった人たちの素直な表情を見る度に、『やってきてよかった』と思えます」と話し「更生保護の精神が町にもっと広げられるように頑張りたい。同会に興味を持ってくださる方と一緒にこの先も活動を続けたい」と笑顔で語りました。

編集 幸記

クリケット体験教室に来ていた小学校低学年の男の子。重たいバッドを一生懸命振っても、うまく打てなくて悔しそうでした。それを見たインド人の方が片言の日本語と簡単な英語でアドバイスを。必死に聞き取り再度チャレンジ。結果は、ボールをわずかに捉えてヒット！「グッジョブ！」満足げな男の子に親指を立てて賛辞を送るインドの方の姿に、つながり、ふれあうことに年齢や国籍、言葉は関係ないんだと改めて実感しました。気付かせてくれた男の子に私からも「グッジョブ！」

梶山 拓郎

▶ 「かねおしごと掲示板」

町のホームページに掲載している町内の人材募集に関する情報をご覧ください。



【問】企画課 ☎ (56) 2221